

第一節 真理を我が家に

家族で教えを実践に

神示から必要不可欠なことを
今の社会の流れの中で、どう生きれば悔いのない人生が歩めるのか、神は繰り返しご指導くださっています。ですから、神示から必要不可欠なことをつかみ取っていくことが大切です。

そのためにも、家族そろって教会に出入りし、家族そろって教えを学び、そして家族そろって教えに生きる努力をします。神の教えが家庭に入れば、常に家族の心が安定し、迷い、苦しみを生むことはありません。どのようなことも乗り越えて、悔いのない人生が歩めます。

神 示

迎えた新たな年の課題を教えん

夫婦 家族で 神の館に出入りし

神示「真理」を家族で学び 我が家に生かす努力をする

この思いが深まる家庭は 必ず家族一人一人の心を引き上げ

会話のある環境に身を置くことがかなう

欲心に染まり 人生に迷いを深める姿が人間

人生の姿に悟りを開かずして 人間は必ず悩み 苦しむもの

知識が先行し 姿 形にのみ価値を見る現代にあつて

神は「教え」に生きる意味を 今こそ信者に伝えてゆく

供丸姫 供丸齋 使者二方の存在と「教え」の導きによって

今日 日本は世界に 調和して生きる国として映っている

時代 環境の変化は ますます大きく現れ 社会環境の動向も激しく流れる

そして 調和の時代へと流れを変えて 環境は安定してゆく

時代の変化にのみ込まれぬように

真理なき不実の社会に染まらぬように

神が与えた運命に導かれた人生が歩めるように

信者は家族で「教え」を学び 我が家に生かす心を持つ時

世界は「真理」を共有し

真実 真理に「生きる」時代へと 移り変わろうとしている

変化の中で 徐々に世界は 調和して「生きる」姿へと戻ってゆく